

# 大使館情報

2023年2月

## 【目次】

### 1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

### 2. ブラジル政治情勢（2023年1月の出来事）

#### 【内政】

- (1) ルーラ新政権発足
- (2) ボルソナーロ元大統領支持者による連邦議会、大統領府、最高裁判所襲撃事件
- (3) ヤノマミ族居住地に対する公共衛生に関する緊急事態宣言
- (4) 陸軍司令官の交代
- (5) ルーラ大統領と全国州知事との会合

#### 【外交】

- (1) 大統領就任式における各国との会談（ルーラ大統領）
- (2) 林外務大臣のブラジル訪問
- (3) セルソ・アモリン首席補佐官の任命
- (4) マリア・ラウラ・ダ・ロシャ外務次官の就任
- (5) アダッジ財務大臣及びシルヴァ環境大臣のダボス会合出席
- (6) ルーラ大統領のアルゼンチン訪問、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）首脳会議出席
- (7) ルーラ大統領のウルグアイ訪問
- (8) 伯独首脳会談（オラフ・ショルツ独首相の訪伯）

### 3. トピックス

- (1) 令和5年新年会 兼 令和4年度在外公館長表彰式の開催（1月25日）

### 4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

## 1. ブラジル・マクロ経済情勢

### (1) 経済情勢（1月発表の経済指標）

- (ア) 11月の鉱工業生産指数は前月比▲0.1%、前年同月比+0.9%となった。
- (イ) 11月の小売売上高は前月比▲0.6%、前年同月比+1.5%となった。
- (ウ) 12月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.62%となった（前月：+0.41%）。直近12か月累計は+5.79%となり、前月（同+5.90%）から上昇幅は0.11%ポイント縮小した。
- (エ) 失業率（9～11月）は8.1%となり、3か月前（6～8月）の移動平均8.9%から0.8%ポイント低下。また前年同期比（2021年9～11月）の11.6%から3.5%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、1月27日時点で、GDP成長率予測については、2023年は+0.80%（前週から0.01%上昇）で、2024年は+1.50%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2023年は5.74%（前週から0.26%ポイント上昇）で、2024年は3.90%（前週から0.06%ポイント上昇）となった。

### (2) 経済政策等

- (ア) 1月12日、アダッジ財務大臣は、「財政再建策（Medidas de Recuperação Fiscal）」を発表。当該財政再建策は、歳出の見直しの他、歳入においては制度の見直し等を通じて財政再建を図るもので、現実的なシナリオとして2023年末時点でのプライマリーバランスの赤字は対GDP比▲0.5～▲1.0%程度を見込んでる。歳入面では、燃料等に対する免税措置の終了、連邦政府が徴収する負担金の還付等についての算出方法の変更、納税者と税当局との訴訟に関する運用の変更等を通じて税収増を図る。歳出では、予算の見直し等を通じて削減を図る。
- (イ) アダッジ財務大臣は、世界経済フォーラムに参加するためスイス・ダボスを訪れた際、税制改革について言及。税制改革が優先事項で、中立的で、透明性があり、より公平な形で税負担を分担することが出来る制度を築くと述べた。低所得者層に対する税率を引下げの他、所得税改革には、利益や配当金への課税が含まれるという。時期については、今年前半に消費税について、後半に所得税についての税制改革を議会で成立させたいとの見通しを示した。
- (ウ) 23日、伯亜首脳会談の共同宣言において、金融統合の深化と外貨の一時的な不足を緩和するためのメカニズムについて技術的な検討を開始すること、また、域内における貿易と生産を強化し、国際的なショックへの耐性を高めるという観点から、長期的に南米共通通貨を創設する意向が共有された。

### (3) 金融政策

1月31日及び2月1日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を13.75%に据え置くことが決定された。次回会合は3月21

日及び 22 日に開催予定。

**(4) 為替市場** (レートは伯中銀の公表値から算出)

(ア) 1 月の為替市場は 5.08~5.45 レアル/ドルで推移。

(イ) 月の前半は 5.11~5.45 レアル/ドルで推移。新政権における財政政策を巡る動向や、米国金融政策に係る発言等を材料にして、概ね上昇傾向で推移した。

(ウ) 月の後半は 5.08~5.21 レアル/ドルで推移。財政政策や金融政策に関連する大臣や大統領の発言の他、米国金融政策の見通し、海外資金の流入等を材料に上下し概ね横ばいの推移となった

**(5) 株式市場**

(ア) 1 月の株式市場は 104,166~114,270 ポイントで推移。

(イ) 月の前半は 104,166~114,270 ポイントで推移。国営企業幹部人事や資源価格を巡る動向や小売り大手にかかる不正会計問題等を材料に上下し、概ね上昇傾向で推移した。

(ウ) 月の後半は 109,213~114,270 ポイントで推移。資源価格を巡る動向や海外資金の流入等を背景に上下し概ね上昇傾向で推移した。

**2. ブラジル政治情勢 (1 月の出来事)**

**【内政】**

**(1) ルーラ新政権発足**

1 月 1 日、ルーラ大統領、アルキミン副大統領が就任し、ルイ・コスタ大統領府文官長、フェルナンド・アダッジ財務大臣、マウロ・ヴィエイラ外務大臣、シモーニ・テベッチ企画・予算大臣等、計 37 名の閣僚が任命された。女性の閣僚数は過去最多の 11 名。閣僚の所属政党は、労働者党 (PT) 10 名、伯社会党 (PSB) 3 名、伯民主運動 (MDB) 3 名、社会民主党 (PSD) 3 名、ブラジル・ユニオン (União Brasil) 2 名、民主労働党 (PDT) 2 名、社会主義自由党 (PSOL) 1 名、伯の共産党 (PCdoB) 1 名、持続可能性ネットワーク (REDE) 1 名、無所属 11 名となっている。

(閣僚の氏名・役職の正式名称等の詳細については、以下のリンクより官報 (ポルトガル語のみ) をご確認ください)

<https://pesquisa.in.gov.br/imprensa/jsp/visualiza/index.jsp?jornal=702&pagina=1&data=01/01/2023&totalArquivos=3>

(各省庁の所掌については、以下のリンクより官報 (ポルトガル語のみ) をご確認ください)

<https://pesquisa.in.gov.br/imprensa/jsp/visualiza/index.jsp?data=01/01/2023&jornal=701&pagina=1&totalArquivos=310>

**(2) ボルソナーロ前大統領支持者による連邦議会、大統領府、最高裁判所襲撃事件**

(ア) 1 月 8 日 (日)、ボルソナーロ前大統領の支持者が、ブラジリア陸軍司令部前の支

持者キャンプ前等に集結し、官庁街に向けてデモ行進を実施。デモ隊は暴徒化し、連邦議会、大統領府、連邦最高裁判所（STF）の窓ガラス等を割って侵入し、備品、家具、美術品等を破壊、建物に放火等を行った。デモ参加者の内、約 300 人が現行犯で逮捕され、その後、翌 9 日までに襲撃に参加したとして計 1500 人が逮捕された。

- （イ） 1 月 8 日、ルーラ大統領は記者会見を実施し、連邦直轄区の治安維持のため、連邦政府が介入し、リカルド・カペッリ法務・治安省事務次官を執政官（Interventor）とする大統領令を即時発効した（同大統領令の効力は、同日から 1 月 31 日まで）。
- （ウ） 1 月 9 日、アレシャンドレ・デ・モラエス連邦最高裁判所（STF）判事は、イバネイス・ロシヤ連邦直轄区（DF）知事に関し、暴動の発生を事前に承知しながら何の対策も講じなかったとして、同知事の公務停止（90 日間）を決定した。
- （エ） 1 月 10 日、モラエス STF 判事は、連邦検察庁（PGR）の求めにより、アンデルソン・トーレス前連邦直轄区（DF）治安局長の逮捕を命じた。また、同日、連邦警察はトーレス前治安局長の自宅を家宅搜索し、書類等を押収した。14 日、米国から帰国したトーレス前 DF 治安局長は、ブラジリア国際空港の到着口にて逮捕された。

### （3）ロライマ州ヤノマミ族居住地に対する公共衛生に関する緊急事態宣言

1 月 20 日、ブラジル保健省は、ロライマ州のヤノマミ族居住地に対し、住民の飢餓・疫病等の対策を目的とした「公共衛生に関する緊急事態宣言」を発出し、オペレーションセンター（COD-YANOMAMI）の立ち上げ等の対策を発表。翌 21 日には、ルーラ大統領、グアジャジャラ先住民大臣、トリンダーデ保健大臣等が、ロライマ州ボア・ビスタ地区のヤノマミ族居住地を訪問し、居住者の健康状態を視察し、野営病院の設置、医療従事者の派遣等の措置を発表した。また、25 日連邦警察は、ヤノマミ族に関する虐殺及び救護義務違反の容疑で、ボルソナーロ前大統領に対する捜査を開始した。

### （4）陸軍司令官の交代

1 月 21 日、ルーラ大統領はジュリオ・セザール・ジ・アフーダ陸軍司令官を罷免し、トーマス・ミゲル・マイネ・リベイロ・パイヴァ大將を陸軍司令官に任命した。

### （5）ルーラ大統領と全国州知事との会合

1 月 27 日、ルーラ大統領は、全国の州知事と会議を実施し、燃料、電力及び通信に対する商品流通税（ICMS）に関する協議を実施した。また同会議では、連邦・州・市が共通のアジェンダを協議する「連邦委員会（Conselho de Federação）」の常設設置が決定された。また、同大統領及び全州知事は、飢餓対策、保健、教育、環境等のテーマについて横断的に会議を行うとした「ブラジリア憲章（Carta de Brasília）」に署名した。

## 【外交】

### （1）大統領就任式における各国との会談

大統領就任式の翌日（1月2日）、ルーラ大統領は、同式典に参加した10各国の首脳等と会談を実施した（フェリペ4世・スペイン国王、フェルナンデス・アルゼンチン大統領、アルセ・ボリビア大統領、ポリッチ・チリ大統領、ラッソ・エクアドル大統領、カストロ・ホンジュラス大統領、ペトロ・コロンビア大統領、エンバロ・ギニアビサウ大統領、ソウザ・ポルトガル大統領、王岐山・中国国家副主席）。

また、就任式に先立つ12月31日に、ルーラ次期（当時）大統領は、シュタインマイヤー・ドイツ大統領、マトヴェンコ・ロシア連邦院議長、ペレシチェク・ウクライナ副首相と会談を実施した。

## （2）林外務大臣のブラジル訪問

（ア） 1月9日午前、ブラジルにおいて、林芳正外務大臣は、ヴィエイラ外務大臣との間で、2014年の「日伯戦略的グローバルパートナーシップ構築に関する共同声明」に基づいて設置した日ブラジル外相對話を行うとともに、共同記者発表及び覚書の署名式を行った。（詳細は、以下をご覧ください）

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/la\\_c/sa/br/page3\\_003582.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/sa/br/page3_003582.html)

（イ） 同9日、林外務大臣は、ブラジリアのリオ・ブランコ外交官学校にて、「連帯の輪を広げる—中南米と共に歩む日本外交」というテーマで講演を実施した（詳細は、以下をご覧ください）。

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/kaiken/kaiken1\\_000116.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/kaiken/kaiken1_000116.html)

（ウ） 1月8日、サンパウロを訪問中の林外務大臣は、日系社会歓迎式典に出席したほか、日本企業関係者との会合やジャパン・ハウス サンパウロ等の訪問を実施した（詳細は、以下をご覧ください）。

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/la\\_c/sa/br/page1\\_001460.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/sa/br/page1_001460.html)

## （3）セルソ・アモリン首席補佐官の任命

1月4日、セルソ・アモリン元外相が、大統領府首席補佐官に就任した。

## （4）マリア・ラウラ・ダ・ロシャ外務次官の就任

1月4日、マリア・ラウラ・ダ・ロシャ外務次官が就任した（ブラジルで初の女性外務次官）。

## （5）アダッジ財務大臣とシルヴァ環境大臣のダボス会合出席

1月16日、シルヴァ環境大臣は、ダボス会議のパネル（自然との調和）に出席し、ルーラ政権が掲げる、森林伐採ゼロ、先住民の保護、民主主義及び持続可能性について言及。18日にアダッジ財務大臣は、南米経済統合の重要性につき言及したほか、ブラジルのOECD加盟に関し、加入プロセスは自然な形で進行していると述べ、コマン・OECD事務総長と個別会談を行った。

#### (6) ルーラ大統領のアルゼンチン訪問、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAAC）首脳会議出席

- (ア) 1月23日、ルーラ大統領はアルゼンチンを公式訪問し、同日にフェルナンデス・アルゼンチン大統領との間で、首脳会談を実施。両大統領は、二国間関係を促進・強化を目的とする「協力に関する共同声明」に署名した。
- (イ) 1月24日にはアルゼンチンにおいて、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAAC）首脳会議が開催され、ブラジルからは、ルーラ大統領、ヴィエイラ外相が出席した。ルーラ大統領はCELAACへのブラジルの復帰（2020年1月伯はCELAACへの参加停止を表明していた）を宣言し、様々な分野における地域での連帯強化の必要性等について述べた。CELAAC首脳会議では、パンデミック後の経済回復、食料・エネルギー安全保障、保健に関する戦略、環境分野における協力等、幅広いテーマについて参加国が共有するビジョンについて111の項目で構成される「ブエノス・アイレス宣言」が採択された。

#### (7) ルーラ大統領のウルグアイ訪問

1月25日、ルーラ大統領はウルグアイを訪問し、ラカジェ・ボウ大統領と首脳会談を実施した。また、会談後に、モンテビデオ県庁を訪問し、コッセ・モンテビデオ県知事と会談、また、ムヒカ元ウルグアイ大統領の農場を訪問し、同元大統領と会談を実施した。

#### (8) 伯独首脳会談（オラフ・ショルツ独首相の訪伯）

1月30日、ルーラ大統領は、大統領府にオラフ・ショルツ独首相を迎え、会談を実施した。両首脳は、グローバルな課題、平和と安全保障の推進、再生可能なエネルギーの拡大、気候変動や貧困との戦いについて、両者の協力を強化し、伯独間の戦略的パートナーシップを再スタートすること決定した。

### 3. トピックス

#### (1) 令和5年新年会 兼 令和4年度在外公館長表彰式の開催（1月25日）

1月25日、在ブラジル日本国大使館は令和5年新年会を開催。日系社会関係者やブラジル政府関係者など約280名の方々が出席した。

同新年会においては、両国国歌演奏、林大使による新年挨拶及び鏡割りが行われた。また、林大使から、ブラジルにて日本語教育・日本文化の普及に大きく貢献している、向井裕樹（むかい ゆうき）ブラジリア大学文学部外国語・翻訳学科日本語専攻科准教授兼同大学大学院応用言語学専攻科専攻科長に対し、在外公館長表彰の授与式を行った。

本新年会レセプションにて、出席者の方々は、新しい年の始まりと今回の在外公館長表彰者を祝った。



向井裕樹氏への表彰



鏡割り



REN ブラジル（若手日系人企業家ネットワーク）  
の皆様と



留学・訪日相談ブースの様

#### 4. 大使館からのお知らせ

##### (1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在ベレン領事事務所 : [facebook](#)

在マナウス総領事館 : [facebook](#)

在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)

在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)

在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

##### (2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和4年度第3四半期）は以下のリンク先から。

[https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/kaigai\\_anzen\\_taisaku.html](https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html)

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil\\_manual.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html)

### (3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報・感染症危険情報

[http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo\\_259.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html)

#### ●危険情報

最新更新日：2022年4月5日

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

#### ●感染症危険情報

最新更新日：2022年10月19日

感染症危険情報レベルを更新し、全世界を一律レベル1（十分注意してください）に見直しました。

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2022年8月1日

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html)

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開しています。



(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2022年8月2日

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html)